

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

今年度初めに11月のつぶやきを書くことが決まり、時期が近づいたら考えようと思っていましたら、あっという間に締切直前となっていました。拙い文章で申し訳ありませんが、私のこれまでの振り返りを書かせていただきます。

時期は遡り、昨年度末のことです。職場から総務省自治大学校への出向を打診されました。今年は地元スポーツチームを応援する年にしようとして初めてシーズンパスを購入した矢先のことでしたので、ありがたい話と思いながらも悩んで、決断したことを覚えています。

その後は引越です。住んでいる家を解約し、自治大学校の寮に入らない家財等について、地元のトランクルームを借りたり、大型ごみ等で処分したり、駐車場を借りたりと少しバタバタな年度末でした。

そんな中今年度に入りまして、マネジメントコース研修生が始まりました。私は上半期に研修受講、下半期に教務部職員として研修運営を行うことになりました。

まず上半期、第1部課程第142期を受講しました。研修生は44名です。

講義、演習を通して、地方公務員として必要な知識等を学ぶことができ、とても勉強になりました。参加される方は、優秀な方ばかりで、また、都道府県と市の職員が一緒になって受講するという点で、これまでと違った視点を体感することができ、とても貴重な経験にもなりました。自分の位置が分かったのも良かったです。

平日の夜や休日は、研修生の皆様が様々な企画をたててくださり、いろいろな場所を巡ることができました。隔週火曜日は茶道部活動ということで、第2クラブ室で今まで関わることのなかった茶道を体験でき、こちらも大変勉強になりました。気持ちが盛り上がってしまって、茶道具を新宿や多治見市まで買いに行ったのは良い思い出です。

そして下半期、教務部職員に戻りまして、第2部課程の研修運営担当です。業務は、出講していただく講師との調整や研修生から提出される課題の管理など様々です。研修の運営が本当にうまくいくのか、日々緊張感がありますが、講師、研修生、自治大学校職員の皆様に助けていただきながら、なんとか運営をさせていただいています。

ざっと書きましたが、このような状況です。研修は、大変なこともあります。寮生活は快適ですし、食堂があつて健康的な食事がとれますし、電車や車で、いろんな場所にも行って見識を広げられますし、本当にありがたい環境だと感じております。

今年度末までの残り数ヶ月も、感謝を忘れず過ごしていきたいと思います。最後までお読みいただきありがとうございます。（Y・T）



茶道部活動を行った第2クラブ室



自治大学校寄宿舍からの景色